

そこが知りたい! LINEの活用ワザ



第5回

LINE Payで友だちへ送金

LINEが備えるスマホ決済機能「LINE Pay」。聞いたことはあるが、使い方がよく分からないという人のために詳しく解説する。

文：岡本 ゆかり

スマートフォンで支払いができるスマホ決済サービスが普及しつつある。メッセージアプリLINEにもスマホ決済機能「LINE Pay」が備わっている。別途、スマホ決済アプリをインストールしたり、アカウントを登録したりする必要がない。

24時間、手数料なしで送金

LINE Payの便利な点は、LINEユーザー同士で個人間の送金ができることだ。友人に飲食代を立て替えてもらった場合など、釣り銭がないようぴったりの金額を用意したり、相手の口座に振り込んだりするのは手間がかかる。LINE Payで支払えば、スマホでタップするだけで即時に相手に届く。ATMの営業時間や振込手数料を気にしなくて済むのが助かる。なお、個人間送金は日本国内のLINEユーザーでのみ可能だ。また、LINE Payでの決済に対応した店舗では、スマホで代金を支払うことができる(図1)。

スマホのLINEアプリで「ウォレット」を開き、LINE Payの利用を始めよう。LINEのパスワードとは別に、LINE Pay専用のパスワードを設定する。送金時や出金時に必要になるためだ(図2)。以降は、「ウォレット」を開き、残高表示部分

●LINE Payなら個人間の送金が手軽



図1 LINEが備えるスマホ決済サービス「LINE Pay」。銀行口座や現金などからチャージ。LINE上の友だちなら、相手の口座番号が分からなくても送金でき、手数料もかからない。コンビニなど、実店舗での支払いにも利用できる

●LINE Payの利用を始める

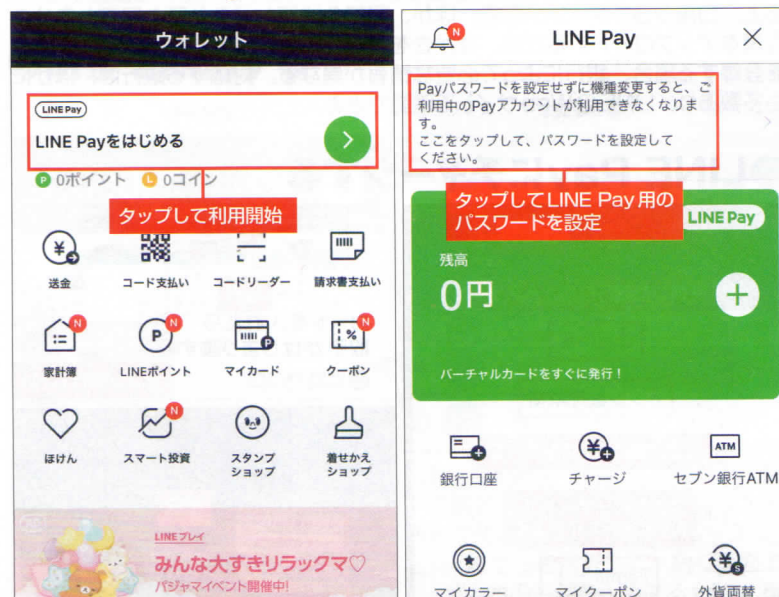


図2 スマホのLINEアプリで「ウォレット」を開く。「LINE Payをはじめる」をタップして、利用を開始する(左)。LINEのパスワードとは別に、LINE Pay用のパスワードを設定しておく(右)

● 本人確認を行う

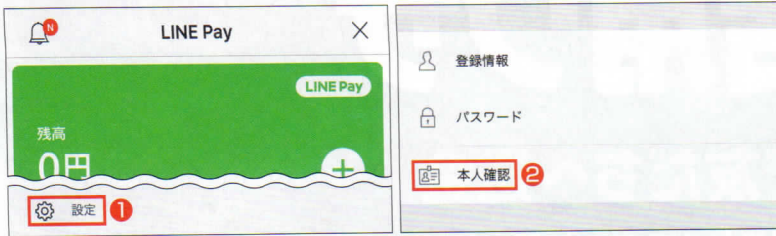


図3 送金するには、本人確認が必要(受け取る側は必要ない)。LINE Payを開き、「設定」をタップ(左)。「本人確認」をタップする(右)

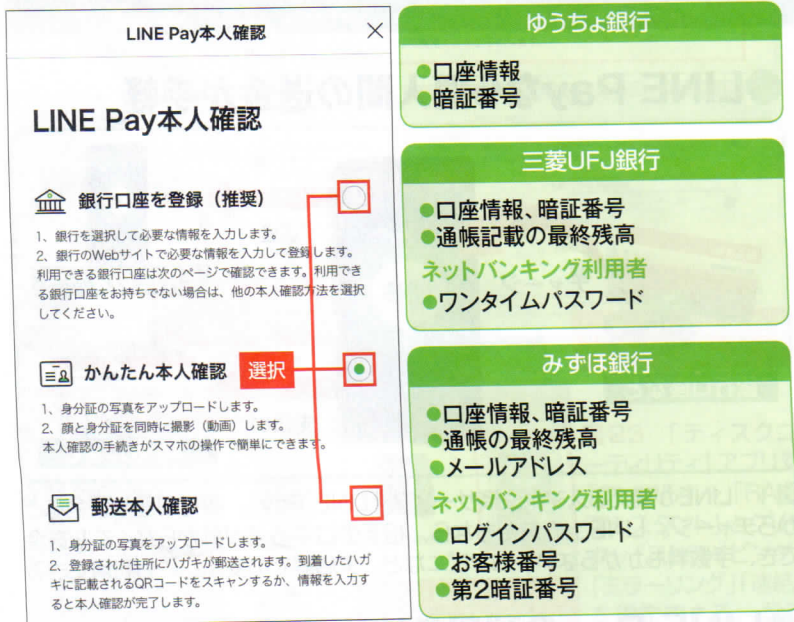


図4 3通りの方法がある。銀行口座を登録すると、即座に本人確認が完了する上、口座からチャージが可能。ほか、運転免許証など身分証の写真と自分の写真をアップロードする方法、はがきを郵送してもらう方法がある。銀行口座を登録する場合、銀行によって必要な情報が異なる。対応する銀行は、ほかに多数あり、LINEのWebサイトで確認できる

● LINE Payにチャージする

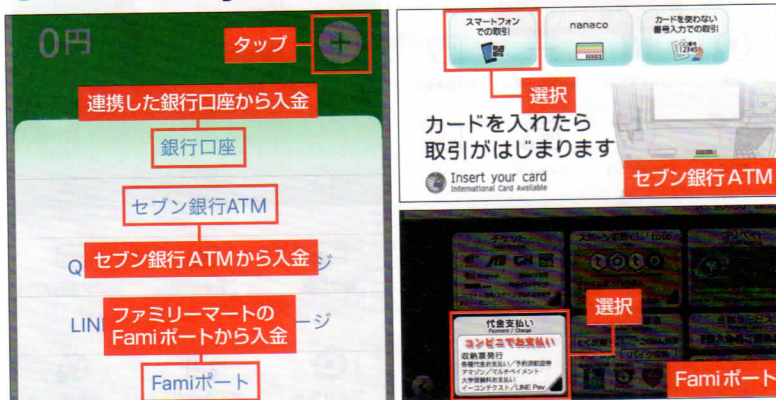


図5 「+」ボタンをタップして、チャージ方法を選ぶ。銀行口座を登録していない場合は、セブン-イレブンやスーパー、駅などにあるセブン銀行のATMから現金で入金するか、ファミリーマートの「Famiポート」端末から入金する

をタップすると、LINE Pay画面を起動できる。

LINE Payで送金を行うには、本人確認を済ませる必要がある(図3)。送金を受け取る側は本人確認を行ってなくてもよいが、送金されたお金を自分の銀行口座に入金したり、現金で出金したりする際には、本人確認が必要になる。LINE Payを使い始めたら、なるべく早く本人確認を完了しておくとういだろう。

本人確認の方法は、3通りある(図4)。銀行口座をLINE Payに登録すると、即座に本人確認が完了する上、口座からLINE Payに任意の金額をチャージできる。口座とLINE Payをひも付けたくない場合は、運転免許証など身分証明書の写真と自分の写真をその場で撮影してアップロードする「かんたん本人確認」か、はがきを郵送してもらう「郵送本人確認」を選ぶ。銀行によって、本人確認に必要な情報が異なる。例えば、ゆうちょ銀行なら口座の情報と暗証番号だけで済む。

LINE Payにチャージ

本人確認が済んだら、LINE Payにチャージしよう(図5)。チャージ方法は、幾通りかある。銀行口座と連携させた場合は、口座から入金するのが簡単だ。LINE Payの残高が一定額を下回った場合は、口座から自動的にチャージするような「オートチャージ」を設定することもできる。

口座と連携させない場合は、現金で入金する。その場合、セブン-イレブンや駅などにあるセブン銀行のATMか、ファミリーマートにある「Famiポート」端



末を使ってチャージ可能だ。

そのほか、LINE Payと連動するプリペイドカード「LINE Payカード」を発行してもらおうと、ローソンの店頭でもチャージできる。なお、セブン銀行ATMやFamiポート、ローソンからは、1000円以上のみチャージが可能だ。

友だちへ送金しよう

いったんチャージが完了すれば、友だちへの送金はとても簡単だ。トーク画面で「送金」を選び、金額を入力しよう(図6)。相手が受け取った際に表示されるメッセージを入力し、送金画面に添える絵柄を選択する。その場で写真を撮って添付することも可能だ。相手には、トークで送金が通知される。相手がこれをタップすると、メッセージが表示され、送金を受け取ることができる(図7)。

自分が宴会の幹事役を務め、後で支払いを求める場合などは、友だちに送金を依頼しよう。LINE Payの画面を開いて「送金依頼」をタップ。送金を依頼する相手を選択して、1人当たりの金額を入力する。飲食代などを複数人で精算する場合は、会計が明朗になるよう、レシートの写真を撮影して添付するとよいだろう(図8)。

相手には、トークで送金依頼が届く(図9)。レシート画像をタップすると、画像を拡大表示できる。トークをタップすると、支払い画面が開く。

相手が送金すると、自分にトークで通知が届く。だが、精算相手が多人数の場合、誰が精算済みかどうかが把握しづらい。その場合は、LINE Payの設定画面

● 立て替えてもらったお金を送金する



図6 友だちとのトーク画面で、カメラボタンの左にあるボタンをタップ。表示されたメニューから「送金」を選ぶ(上)。送金する金額を入力する(右)



図7 メッセージを入力して、送金画面に添える絵柄を選択(左)。相手には、トークで通知される。相手はトークをタップして、送金を受け取る(右)

● 送金を依頼する



図8 自分が立て替えた支払いを、相手に送金してもらいたい場合。LINE Payを開いて「送金依頼」をタップ(左上)。友だちを選択して、続く画面で1人当たりの金額を入力する(上)。複数人での精算時は、分かりやすいように支払時のレシートを撮影して送るとよいだろう(左下)

●送金依頼に対して相手が支払う

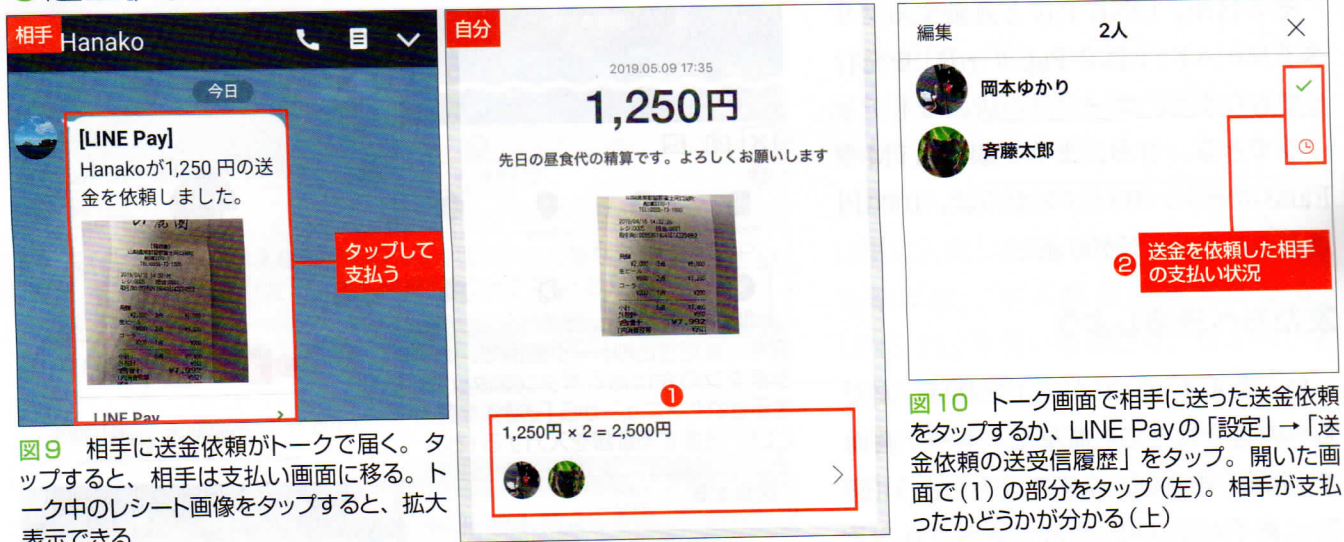


図9 相手に送金依頼がトークで届く。タップすると、相手は支払い画面に移る。トーク中のレシート画像をタップすると、拡大表示できる

図10 トーク画面で相手に送った送金依頼をタップするか、LINE Payの「設定」→「送金依頼の送受信履歴」をタップ。開いた画面で(1)の部分の部分をタップ(左)。相手が支払ったかどうか分かる(上)

●LINE Payで支払う

- LINE STOREでスタンプを購入
- ネットショッピングでの支払い
ZOZOTOWN、
Joshin webショップなど
- コンビニでの支払い
ローソン、ファミリーマート、
ミニストップ、セイコーマート
- 店舗での支払い
レストラン、居酒屋、電器店など
- 請求書の支払い
東京電力、関西電力、神奈川県水道、ファンケルなどの通信販売
- 出金
自分の銀行口座へ入金
(手数料216円)
セブン銀行ATMから
現金で引き出す
(1000円以上、手数料216円)

図11 LINE Payのお金は、LINE STOREやネットショッピングでの支払いに利用可能。また、コンビニやレストランなどでもLINE Payの支払いに対応するところも。そのほか、電気代などを支払うこともできる。出金も可能だ

から「送金依頼の送受信履歴」を開くと、各人の送金状況が分かる(図10)。

LINE Pay上のお金を利用する

LINE Payにチャージしたり、送金で受け取ったりしたお金は、自分が誰かに送金する際に利用できるほか、LINE STOREでのスタンプ購入などに使える(図11)。また、ローソンやファミリーマートなどのコンビニ、居酒屋、レストランなどではLINE Payでの支払いに対応している店もある。その場合、「コード支払い」を選んで、表示されたバーコードをレジで読み取ってもらえばよい(図12)。そのほか、電気代などの請求書の支払いをLINE Payで済ますこともできる。

自分の銀行口座に入金したり、セブン銀行ATMから現金で引き出せたりもできる。ただし、1回当たり216円の手数料が必要で、銀行口座で出金する場合1日当たり10万円まで。セブン銀行ATMで出金する場合は、1000円以上が対象かつ1日当たり1万円までという制限がある。



図12 LINE Payの画面を開き、「請求書支払い」「コード支払い」「コードリーダー」から支払い方法を選ぶ(左)。コンビニなどでは、「LINE Payで支払いしたい」と告げて、バーコードを表示させる。表示されたバーコードをレジの端末で読み取ってもらう(右)